

Media Universal Design COMPETITION

The **11**th

募集要項
Applicant Guidelines

第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

第10回 経済産業大臣賞 一般の部
知っておきたい！公衆電話

大阪シーリング印刷株式会社
中原 聡美、宮西 麻紀、杉原 啓二、秋月 崇志、
酒井 麻衣、坂本 綾香、増山 由佳



第10回 経済産業大臣賞 学生の部
VOLU BAN (ボラバン)

大阪市立デザイン教育研究所
濱田 貴光



第11回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

開催趣旨

各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責務を果たすためのコンプライアンス活動が求められています。全日本印刷工業組合連合会ではそれを踏まえて、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に、取り組んでいます。

この取り組みをより強固なものとするために、一般社会に対してMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、印刷業界においては印刷技術の向上に貢献することを目指して、本年も「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催します。

今回も一般の方だけではなく、高齢者・障がい者や子ども、外国人などすべての人に対して優しいデザインの実現を目的とする、斬新なアイデアに富んだ作品を募集します。

応募期間

2017年 **8月1日** (火) ~ **10月31日** (火) [当日消印有効]

募集作品

グラフィックデザインのもの

(例) ・カレンダー ・地図 ・パンフレット ・サイン ・パッケージ ・チラシ
・ポスター ・ラベル ・カードゲームなど

※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触にご注意ください。

※特に既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品を広く募ります。

応募資格

一般の部 プロ・アマを問わず、どなたでもご応募いただけます。

学生の部 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒。

応募対象作品

2016年7月以降に制作されたものとします。

応募方法

作品1点とデータ1点 (CD-Rにai / eps / jpeg / pdfいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともにお送りください。

※入選作品に選ばれた場合、ご提出いただいたデータをもとに受賞作品集の制作を行います。

出品料

一般：3,000円 (応募作品1点につき) **学生：無料**

※2017年10月31日 (火) までにお振込願います。

振込先

口座名義：全日本印刷工業組合連合会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 当座預金 9007457

みずほ銀行 京橋支店 当座預金 0114231

りそな銀行 東京中央支店 当座預金 1362911

商工組合中央金庫 本店 当座預金 2021935

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

授与賞

◆一般の部

- ・経済産業大臣賞 (申請中)：表彰状、賞金 100,000円
- ・優秀賞：表彰状、賞金 50,000円
- ・佳作：表彰状、賞金 10,000円

◆学生の部

- ・経済産業大臣賞 (申請中)：表彰状、図書カード 30,000円分
- ・優秀賞：表彰状、図書カード 10,000円分
- ・佳作：表彰状、図書カード 3,000円分

▶主催

全日本印刷工業組合連合会

▶後援(予定・順不同)

経済産業省

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会

読売新聞社

朝日新聞社

日本経済新聞社

一般社団法人日本印刷産業連合会

一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

公益社団法人日本パッケージデザイン協会

日本図書設計家協会

NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

▶協力(予定・順不同)

東洋インキ株式会社

株式会社イワタ

EIZO 株式会社

株式会社モリサワ

リコージャパン株式会社

全国印刷緑友会

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・SPACE-21

日本青年会議所メディア印刷部会

▶審査日(予定)

予備審査 2017年11月

本審査 2017年11月

▶審査結果発表日

本審査日より1週間後 ※入選者のみ入選通知書をお送りいたします。

▶審査基準

- メディア・ユニバーサルデザインの観点から見やすさにおいて優れているもの。
- 斬新な発想とアイデアにより独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの。
- 色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせによりメディア・ユニバーサルデザインの配慮がなされているもの。
- それぞれのメディア(部門)において実用的かつ機能的なもの。

以上4点を総合的に勘案し審査を行い、最も優れた作品を経済産業大臣賞として表彰します。

▶審査委員(予定・敬称略)

経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 担当官
一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 担当審査員
伊藤 啓 (東京大学 分子細胞生物学研究所 脳神経回路研究分野 准教授)

武者 廣平 (NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構 理事長)

土生 英彦 (色覚問題研究グループばすてる 事務局長)

高橋 正実 (MASAMI DESIGN)

橋田 規子 (芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 教授)

日原佐知夫 (創造意匠)

伊藤 裕道 (NPO 法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 会長)

橋本 博 (NPO 法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 事務局長)

三島 秀夫 (全日本印刷工業組合連合会 CSR 推進委員会 委員長)

浦久保康裕 (全日本印刷工業組合連合会 CSR 推進委員会 MUD部会長)

▶表彰式(予定)

日程 2018年2月 会場 日本印刷会館

▶注意事項

- 応募期間を過ぎての作品の応募、および振込期限を過ぎての出品料の振込がなされた場合は、審査および入選対象から除外しますので、ご注意願います。
- 作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、作品のサイズによっては実物による出品の受付ができない場合があります。
- 応募作品およびデータの返却はいたしません。

▶知的財産権について

- 応募作品に関する知的財産権は、各権利者に帰属することとします。従って、応募者は応募作品に関して、自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証するものとします。
- 応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似等が認められる場合は、審査対象からの除外、または受賞を取り消す場合があります。
- 入選作品は展示・公開され、また応募作品は各種の印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合があります。また、その時に一部の変形及び翻案を行う場合があります。
- その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者自らが解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとします。

作品応募先

〒166-8539東京都杉並区和田 1-29-11

公益社団法人 日本印刷技術協会内

「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係

TEL: 03-3384-3111 FAX: 03-3384-3481

お問い合わせ先

〒104-0041東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 4F

全日本印刷工業組合連合会

「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係

TEL: 03-3552-4571 FAX: 03-3552-7727

この印刷物は CSR に取り組む印刷会社が、印刷事業において発生する CO₂ 全てをカーボンオフセット(相殺)した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。また、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。メディアのユニバーサルデザインを推進する NPO 法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた印刷物です。



「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」出品申込書

(コピーしてご利用ください。)

募集要項を承諾した上で、下記のとおり「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」に応募します。

署名

印

以下の項目を**全て**ご記入ください。

応募資格	①一般の部 ②学生の部 (いずれかに○をつけてください)		
企業名/学校名			
ふりがな			
出品者氏名			
振込人名義	※出品者名と異なる方が出品料をお振り込みになる場合のみ、振込人名義をご記入ください。		
連絡先の区分	①企業 ②学校 ③自宅 (いずれかに○をつけてください)		
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
発行会社 (クライアント)	※出品前に必ず発行会社(クライアント)に許可をお取りください。		
作品名			
工夫点 審査の判断基準になります ので、作品のポイントを分 かりやすくご記入ください	※別途プレゼン資料等(A4サイズ)を作品とデータと共にお送りいただいても結構です。 ※作品(実物)が無い場合は、工夫点やコンセプトをまとめた資料のみで審査を行います。		